

# リリースノート

(インストール手順と使用上の制限事項)

## CentreNET<sup>®</sup> Vista Manager<sup>®</sup> Ver.3.0J

この度はCentreNET Vista Managerをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この冊子では、付属のマニュアルに記載されていない事柄や、製品仕様の変更点などに関する最新情報が説明されています。



*Release Notes.Vista Manager Ver 3.0J December 1998*

### 目次

ご注意	ii
商標について	ii
マニュアルバージョン	ii
<b>1 はじめに</b>	
1.1 Vista Managerの概要	1-2
1.2 本書の構成	1-2
1.3 製品構成	1-3
1.4 バージョン3.0Jでの機能サポート範囲	1-4
<b>2 インストールの前に</b>	
2.1 必要なソフトウェア・ハードウェア	2-2
2.2 TCP/IPソフトウェアの設定	2-3
2.3 バージョンアップインストールに伴う注意事項	2-4
<b>3 インストール方法</b>	
3.1 インストール順序について	3-2
3.2 Vista Managerのインストール	3-3
3.3 SwimViewのインストール	3-8
3.4 Vista Managerの起動	3-13
3.5 アンインストール方法について	3-17
<b>4 その他の注意事項</b>	
4.1 OSによる制限事項	4-2
4.2 RMON機能の制限事項	4-3

## ご注意

本書の中に含まれる情報は、当社 (アライドテレシス株式会社) の所有するものであり、  
当社の同意なしに全体または一部をコピーもしくは転載することを禁じます。  
当社は、予告無く本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。  
また、改良のため製品の仕様を予告無く変更することがあります。

Copyright © 1998 アライドテレシス株式会社

## 商標について

SNMPc は、米国 Castle Rock Computing 社の商標です。  
CentreCOM、CentreNET、および Vista Manager は、アライドテレシス株式会社の登録  
商標です。  
HP および HP OpenView は、Hewlett-Packard 社の登録商標です。  
MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。  
その他、本マニュアル中に記載されているソフトウェアや周辺機器の名称は、各メーカー  
の商標または登録商標です。

## マニュアルバージョン

1996年 5月	J613-B4050 Rev.A	初版
1997年 4月	J613-M0174-00 Rev.A	日本語化対応
1998年 12月	J613-M0174-00 Rev.B	バージョン 3.0J 対応

# 1

## はじめに

この章では、Vista Managerの概要と本リリースノートの構成、製品構成、弊社によるサポート範囲などについて説明します。

## 1.1 Vista Managerの概要

CentreNET Vista Manager (以下「Vista Manager」)は、アライドテレシス製ネットワーク機器を管理する目的で開発されたソフトウェアです。Vista Managerを使用すれば、ネットワークノードを自動的に検索し、その位置や状態を構成マップ上で確認し、グラフや表を用いてネットワークの状態をリアルタイムに監視、管理することができます。

また、Vista ManagerのCD-ROMには、JAVAベースのネットワーク機器管理アプリケーション、SwimViewも収録されています。SwimViewを使用すれば、アライドテレシス製機器をいっそう容易に管理することができます。

## 1.2 本書の構成

本リリースノートでは、Vista Managerのインストール方法や簡単な操作方法などについて説明しています。Vista Managerのご使用前にお読みください。また、製品ディスク内のREADME.TXTファイルも参照してください。本書は、次のような構成になっています。

### 第1章「はじめに」

Vista Managerの概要とサポート範囲などについて説明します。

### 第2章「インストールの前に」

Vista Managerの実行に必要なハードウェア、ソフトウェアおよびTCP/IPソフトウェアについて説明します。

### 第3章「インストール方法」

Vista Managerのインストール方法を手順を追って説明します。また、起動方法についても簡単に触れます。

### 第4章「その他の注意事項」

OSによる制限等、その他の注意事項について説明します。

## 1.3 製品構成

CentreNET Vista Managerの製品構成は以下の通りです。ただし、補足資料が添付されるなど変更の可能性がありますので、最新の製品構成については同梱のパッキングリストをご覧ください。

- ・マニュアル

1. User's Manual 1冊
2. リリースノート（本書） 1冊

- ・供給ディスク

1. CD-ROM 1枚  
( Vista Manager、Vendor情報、SwimViewを収録 )

- ・その他

1. お客様インフォメーション登録カード
2. シリアル/認証キーシール入り封筒  
(ソフトウェア使用権許諾契約書)  
...シリアル/認証キーシールは、Vista Manager用とSwimView用の2つがあります。お客様インフォメーション登録カードには、Vista Manager用のシリアル番号シールだけを貼付してください。

### 認証番号について

Vista ManagerとSwimViewは、不正コピーを防止するため認証番号制を採用しています。Vista Managerは起動されるたびに認証番号の正当性をチェックし、またネットワーク上で動作している他のVista Managerの検出も行います。重複する認証番号が検出された場合、両方のVista Managerでメッセージを表示し、ネットワークアクセスを停止します。また、認証番号はVista Managerをインストールする際にも必要です。

SwimViewでは、インストール後30日以内にシリアル番号と認証番号をプログラムに登録する必要があります。登録方法については、第3章「3.3 SwimViewのインストール」の手順14を参照してください。

認証番号はシリアル/認証キーシール入り封筒に封入されています。この番号シールは購入の証明となるので、紛失しないようご注意ください。

## 1.4 バージョン3.0Jでの機能サポート範囲

Vista Manager Ver.3.0Jでは、弊社として正式サポートする機能が下記のように制限されていますのでご注意ください。

「サポート対象外」の機能は、弊社ユーザーサポートの対象になりません。

「サポート対象外」の機能は、お客様の責任においてご使用ください。

機能	サポート状況	備考
BitViewプログラム	制限付きサポート	弊社製品のみサポート (対応機器については別表を参照)
HubViewプログラム	制限付きサポート	弊社製品のみサポート (ACC Tahoe、ACC Nile) 他社製品は <b>サポート対象外</b>
「ノードの探索」コマンド (「編集」メニュー)	制限付きサポート	Windows NTでは、IPXノードの検出は <b>サポート対象外</b>
「境界のクリア」コマンド (「マップ」メニュー)	サポート対象外	サードパーティ製アプリケーション 使用時のみ有効。弊社ではサポート いたしません。
「RMON」メニュー	制限付きサポート	アライド製AT-RMONプローブをサ ポート
BOOTPプログラム	サポート	
Event Pagerプログラム	サポート対象外	
Menuプログラム	サポート	
Telnetプログラム	サポート対象外	
TFTPプログラム	サポート	
TFTPDプログラム	サポート	
HP OpenView for Windows	サポート	サポート対象は、HP OpenView for Windows Workgroup Node Manager ver7.2をWindows95で動 作させた場合

マニュアルの該当個所には

**サポート対象外** マークと **制限付きサポート** マークが表示されています。

## BitView 対応機器一覧

BitViewの対応機器は以下の通りです。ファームウェアバージョンは、記載されているものと同じかそれ以降のものでなくてはなりません。

機種名	ファームウェアバージョン
CentreCOM 36xxシリーズ	Ver 2.3.1
CentreCOM 3690TR	Ver 1.1.1
TurboStackシリーズ	Ver 3.0
TS90TR	Ver 1.1.1c
CentreCOM 31xxシリーズ	Ver 2.4
CentreCOM RH609	Ver 1.0PL0
CentreCOM FH612TX/TXS	Ver 1.0PL0
CentreCOM 2985	Ver 2.03
CentreCOM 3716TR	Ver 0.44
CentreCOM 3716TR Plus	Ver 3.09
CentreCOM AR300	Ver 1.4
ACC CONGO	Ver 9.5.7
ACC NILE	Ver 8.03
ACC Tahoe	Ver 8.06
CentreCOM 8116	Ver 2.12
CentreCOM 8208	Ver 1.4.2
CentreCOM 3734TX	Ver 2.12
CentreCOM 3612L	Ver 1.0PL0
CentreCOM 8518	Ver 1.2.11
CentreCOM 9108	Ver 1.2.11

各BitViewモジュールの使用方法については、CD-ROMのVENDORディレクトリにあるBITVIEW.PDFをご覧ください。なお、このファイルをご覧になるには、アドビシステムズ株式会社のAdobe Acrobat Reader 3.0Jが必要です。Acrobat Readerは、同社のWebサイトよりダウンロードできます。詳しくは、同サイトをご覧ください。

<http://www.adobe.co.jp/>

## SwimView 対応機器一覧

SwimViewの対応機器は以下の通りです。ファームウェアバージョンは、記載されているものと同じかそれ以降のものでなくてはなりません。

機種名	ファームウェアバージョン
CentreCOM 9108	Ver 1.2.11 (Build 2)
CentreCOM 8518	Ver 1.2.11 (Build 2)
CentreCOM 8312	Ver 3.02
CentreCOM 8124	Ver 1.03
CentreCOM 8116	Ver 2.12
CentreCOM 8008	Ver 1.02
CentreCOM 3734TX、TX-1F	Ver 2.12
CentreCOM 3726	Ver 2.0
CentreCOM 3716TR	Ver 0.44
CentreCOM 3716TR Plus	Ver 3.09
CentreCOM 3624TR、TRS	Ver 2.3.1
CentreCOM 3612T、TR	Ver 2.3.1
CentreCOM 3612L	Ver 1.0PL1
CentreCOM 3608	Ver 2.3.1
CentreCOM 3606F、F/ST	Ver 2.3.1
CentreCOM RH609	Ver 1.1PL1
CentreCOM AR300、AR300L	Ver 1.6PL2

各SwimViewモジュールの使用方法については、SwimViewオンラインマニュアルの「機種別ガイド」をご覧ください（第3章「3.3 SwimViewのインストール」の手順15を参照）。



# 2

## インストールの前に

この章では、Vista Managerを使用するために必要なハードウェアおよびソフトウェアと、TCP/IPソフトウェアの設定について説明します。

## 2.1 必要なソフトウェア・ハードウェア

Vista Managerをインストールする前に、次に示すハードウェアおよびソフトウェアをインストールする必要があります。これらのハードウェアおよびソフトウェアはVista Managerに含まれておりませんので、別途ご購入ください。

1. 対応パソコン機種
  - ・ OADG仕様のPC/AT互換パーソナルコンピュータ
  - ・ NEC PC-9800およびPC98-NXシリーズ パーソナルコンピュータ
  
2. 対応OS
  - ・ Microsoft Windows 95J
  - ・ Microsoft Windows NT 4.0
  
3. 対応ネットワーク環境
  - ・ Windows 95Jを使用する場合:
    - Windows 95J付属のTCP/IPプロトコルスタック
  - ・ Windows NT 4.0
    - Windows NT 4.0付属のTCP/IPプロトコルスタック
  
4. 最小システム構成
  - ・ Pentium 133MHz以上のCPU
  - ・ 32MB以上の実メモリ
  - ・ 65MB以上の空き容量を持つハードディスクドライブ
  - ・ CD-ROMドライブ
  - ・ VGAディスプレイ
  - ・ LANインタフェースカード
  
5. その他
  - ・ SNMPエージェントソフトウェア（ハブなどに内蔵されています）

## 2.2 TCP/IPソフトウェアの設定

Vista Managerを使用するには、ご使用のプラットフォームにTCP/IPプロトコルソフトウェアがインストールされ、正常に動作する状態になければなりません。

Vista Managerがサポートしているのは、Windows 95およびWindows NT付属のTCP/IPプロトコルです。

それぞれの製品に添付されているマニュアルを参照し、IPアドレスなどを適切に設定してください。

また、Vista Managerで管理する各ノード（ハブなど）についても、IPアドレスを割り当てる必要があります。IPアドレスの設定方法については、各製品のマニュアルを参照してください。

設定内容が正しいことを確認したら、ネットワークに接続されている他のTCP/IP装置にPingコマンドを発行し、正しい応答が得られることを確認してください。

## 2.3 バージョンアップインストールに伴う注意事項

Vista Manager Ver.3.0Jのセットアッププログラムは、インストール時に旧バージョン（Vista Manager Ver.1.0またはVer2.0J）を自動的に検出し、バージョンアップ（上書き）の確認メッセージを表示します。

バージョンアップインストールでは、基本的にカスタマイズ等、設定済みの情報は引き継がれますが、変更の可能性のある以下のファイルについてはセットアッププログラムがバックアップファイルを作成します。必要に応じて、変更内容を確認し修復願います（users.datファイル以外はテキストファイルです）。

バックアップ対象ファイル名（括弧内はファイル内容の概要）

- snmpc.ini（Vista Managerの設定ファイル）
- users.dat（ログイン・ユーザ情報）
- bootp.cfg（BOOTPデータベースファイル）
- discover¥device.dat（AutoDiscoveryのノードタイプ一覧）
- hubview¥hubnames.txt（デバイスタイプマップ）
- mibfiles¥names.txt（コンパイル対象のMIB一覧）
- mibfiles¥autoico.txt（アイコン、APIプログラム自動選択用ファイル）
- mibfiles¥basic.men（カスタムメニュー）

バックアップ時に、上記のファイルは拡張子が「.nnn」（nnnは000～999の数字で、バックアップのたびに増加する）に変更されます。

また、バージョンアップインストールに続いて、ベンダー情報ファイルをインストールすることもできます。その場合、既存情報（MIB、BitView、HubViewファイル等）が上書きされることがあります。必要に応じて、あらかじめバックアップをとっておいてください。

さらに、ベンダー情報ファイルの追加を行う場合、コンパイル可能なMIBの許容数を超過してしまう場合があります。詳細については、CD-ROMのVENDOR¥README.TXTファイルにある「MIBコンパイルについての注意事項」をお読みください。

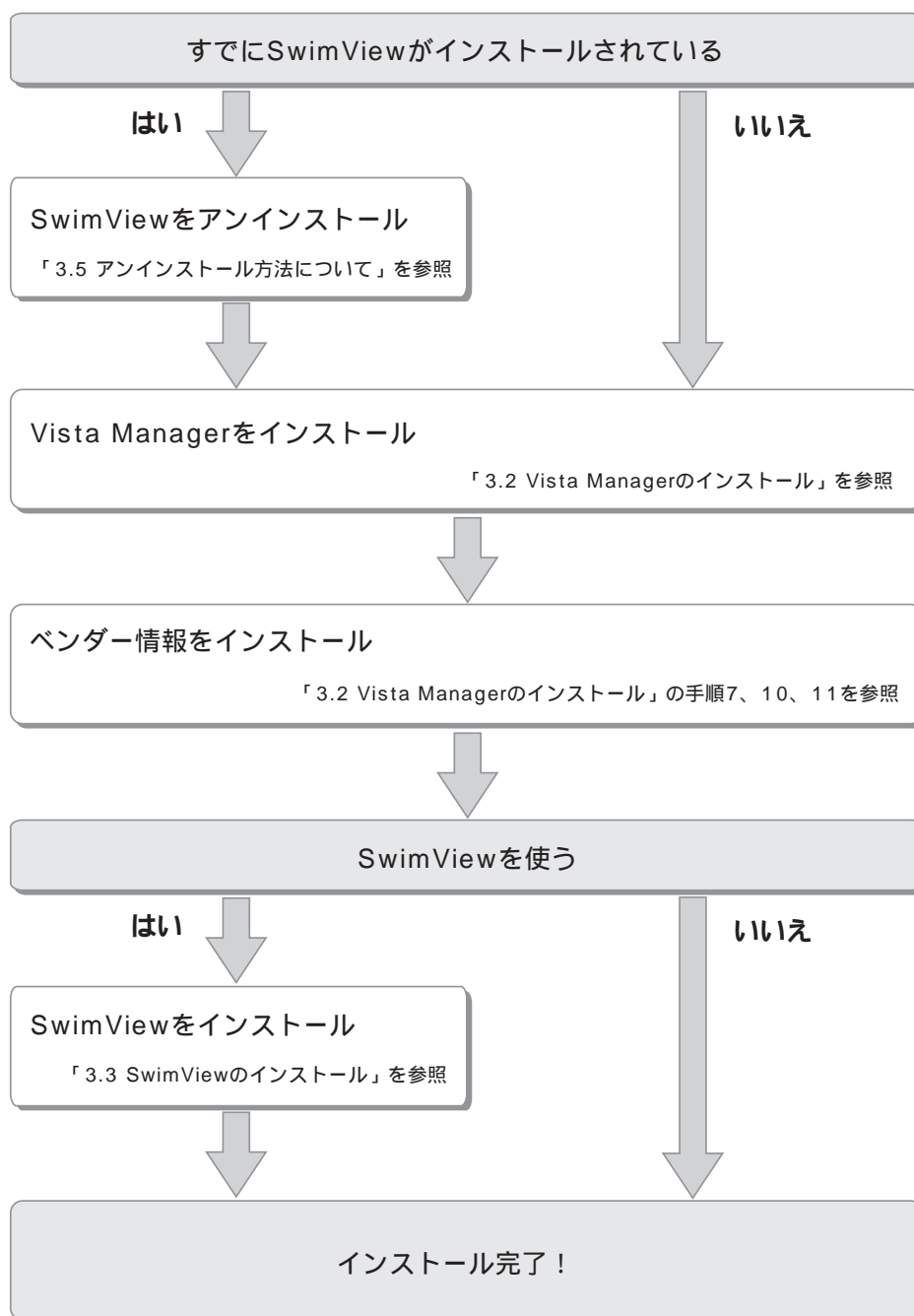
# 3

## インストール方法

この章では、Vista Managerのインストール手順と起動手順について説明します。

### 3.1 インストール順序について

Vista ManagerとSwimViewを両方インストールする場合は、Vista Managerを先にインストールしてください。SwimViewを先にインストールすると、Vista ManagerからSwimViewの機能呼び出しが正常に行われません。また、SwimViewをすでにインストールしている場合は、いったんSwimViewをアンインストールしてください。インストール順序については、次の図を参考にしてください。

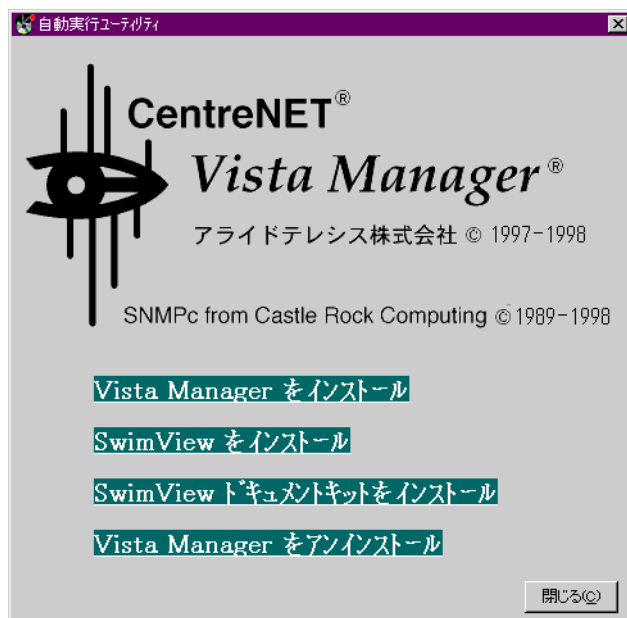


## 3.2 Vista Managerのインストール

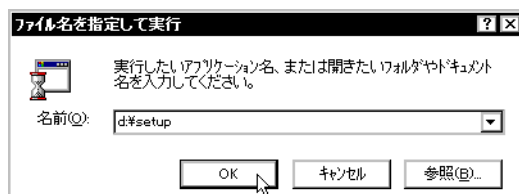
Vista Managerのインストールは、次の手順で行います。

1. Windowsを起動します。
2. CD-ROMドライブに、Vista ManagerのCD-ROMをセットします。  
(ここでは、CD-ROMドライブをD:、ハードディスクをC:とします)
3. セットアッププログラムが自動的に起動し、次の画面が表示されます。  
「Vista Managerをインストール」をクリックしてください。

3



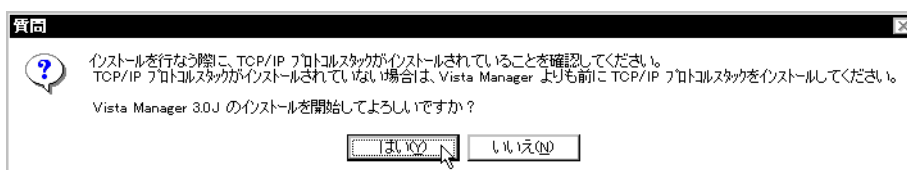
セットアップが自動的に起動しない場合は、タスクバーから「スタート」「ファイル名を指定して実行」と選択し、「名前」に「d:¥setup」と入力して「OK」を押すと、上記の画面が表示されます。



4. 次の画面が表示されます。「次へ」ボタンを押してインストールを開始してください。インストールを中止するには、「キャンセル」ボタンをクリックします。



5. TCP/IPがインストールされているかどうかを確認する次のダイアログが表示されます。「はい」をクリックしてください。

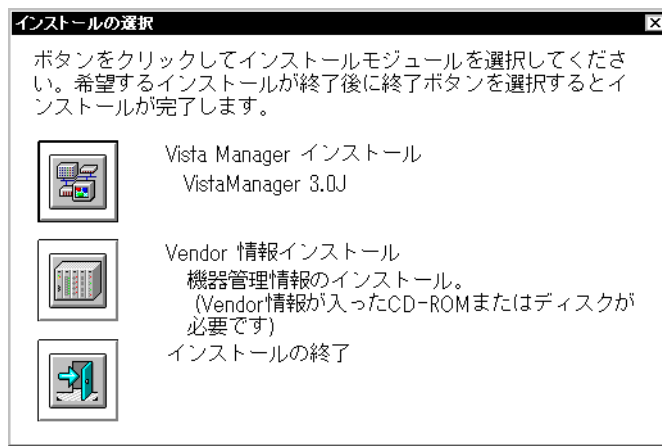


6. 新規インストールの場合は、次のダイアログボックスでユーザー名、会社名、シリアル番号を入力します。シリアル番号は、シリアル/認証キーシール入り封筒に入っているシールの下部に記載されているもので、「1BCDE-12CDE-123DE-1234E」のような形式です。ハイフンも含め23桁すべてを入力してください。上書きインストールの場合は、手順6を飛ばして手順7に進みます。





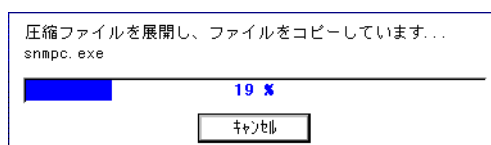
7. ユーザー情報の確認後、次のダイアログが表示されます。ここでは、Vista Manager本体とベンダー情報のどちらをインストールするかを選択します。Vista Manager本体をインストールする場合は、「Vista Manager インストール」を選択します。すでにVista Managerのインストールが完了しており、ベンダー情報のみインストールする場合は、「Vendor 情報インストール」を選択します。また、ベンダー情報は、Vista Managerのインストール後に、タスクバーの「スタート」メニューから「プログラム」「CentreNET Vista Manager」「ベンダーセットアップ」と選択してもインストールできます。



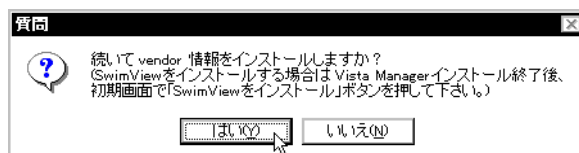
8. 旧バージョンのVistaManagerがインストールされている場合は、インストール済みのバージョンをアップグレードするかどうか問い合わせてきますので、必要に応じて「はい」または「いいえ」で教えてください。アップグレードしない場合と新規インストールの場合は、次のダイアログが表示され、インストール先ディレクトリを問い合わせてきます。デフォルトでよい場合はそのまま、変更する場合はフルパス名を指定して（「参照」ボタンをクリックすると、リストボックスからディレクトリを選択できます）から「次へ」ボタンをクリックします。



9. 必要なファイルがハードディスクにコピーされます。コピー中は、進行状況を示す次のダイアログボックスが表示されます。

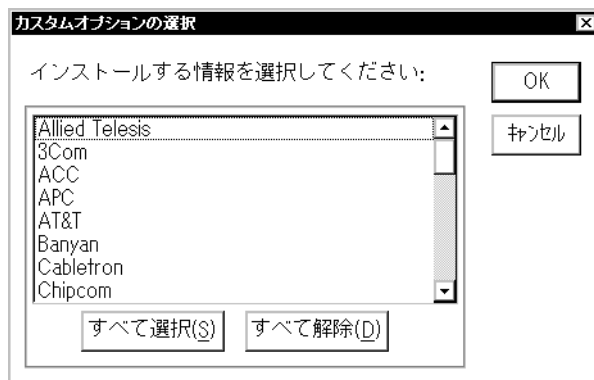


10. ファイルのコピーが完了すると、続けてベンダー情報をインストールするかどうかを確認するダイアログが表示されます。インストールする場合は「はい」をクリックして手順11へ、インストールしない場合は「いいえ」をクリックして手順12に進んでください。ベンダー情報は後からインストールすることもできます（前ページの手順7を参照）。



11. ベンダー選択画面が表示されます。リストボックスからベンダーを選択してください。「すべて選択」および「すべて解除」ボタンで、全ベンダーの選択/選択解除ができます。ベンダー情報（各ベンダー固有の機器に関する情報）を使用しない最低限の設定でインストールする場合は、ベンダーエントリを選択する必要はありません。「OK」を押して次へ進みます。

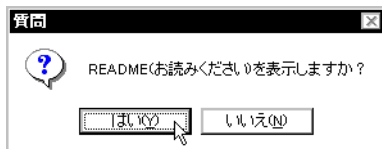
アライドテレスिस製品の場合は「Allied Telesis」を選択してください。



12. インストールが完了すると、手順7の画面に戻ります。「インストールの終了」をクリックしてください。次のダイアログが表示されるので、「はい」を選択します。



13. 続いて次のダイアログが表示されます。「はい」を選択すると、「メモ帳」プログラムが起動してREADME.TXTファイルが表示されます。このファイルには、マニュアルやリリースノートにない最新情報が記載されています。読み終わったら、「メモ帳」を終了します。



14. 手順3のダイアログに戻ります。続いて、SwimViewをインストールする場合は、次ページ「3.3 SwimViewのインストール」の手順4へ、SwimViewをインストールしない場合は、「閉じる」ボタンをクリックして「3.4 Vista Managerの起動」へ進んでください。

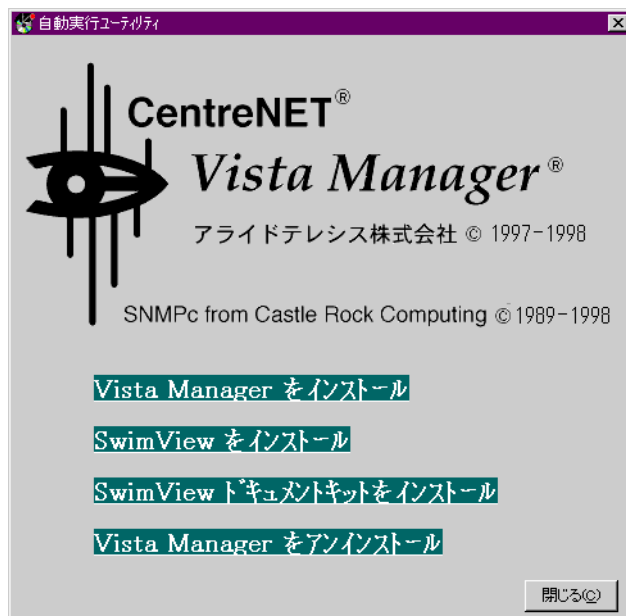
### 3.3 SwimViewのインストール

Vista Manager Ver 3.0Jには、JAVAベースのネットワーク機器管理アプリケーション「CentreNET SwimView」が同梱されています。SwimViewのインストールは、以下の手順で行います。

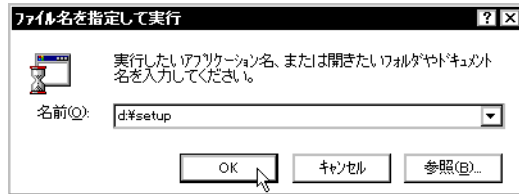
注: SwimViewのインストールは、Vista Manager本体とベンダー情報をインストールした後に行ってください。

注: 管理対象機器によっては、BitViewとSwimViewの両方でサポートされている機種があります。もし、BitViewでの管理を希望される場合は、SwimViewをインストールする必要はありません。SwimViewをインストールすると、SwimViewが優先して起動されます。

1. Windowsを起動します。
2. CD-ROMドライブに、Vista ManagerのCD-ROMをセットします。  
(ここでは、CD-ROMドライブをD:、ハードディスクをC:とします)
3. セットアッププログラムが自動的に起動し、次の画面が表示されます。



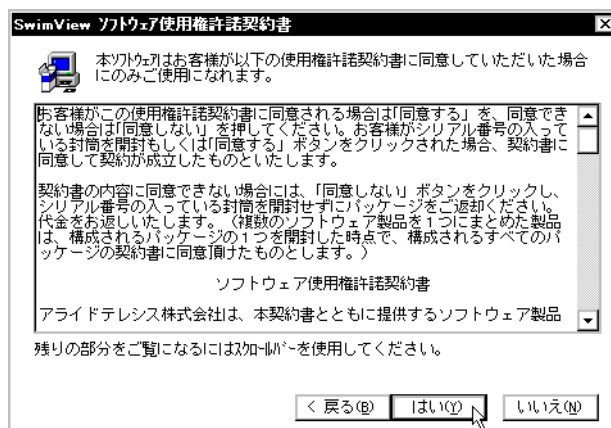
セットアップが自動的に起動しない場合は、タスクバーから「スタート」「ファイル名を指定して実行」と選択し、「名前」に「d:¥setup」と入力して「OK」を押すと、上記の画面が表示されます。



4. 「SwimViewをインストール」をクリックすると、次の画面が表示されます。「次へ」ボタンを押してインストールを開始してください。



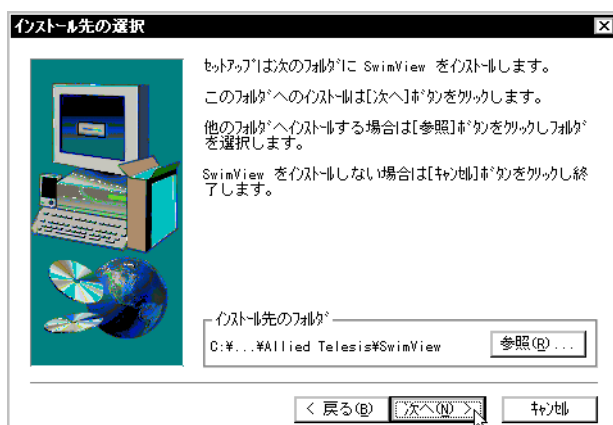
5. 使用権許諾契約書の内容が表示されます。同意される方は「はい」をクリックしてください。



6. 次のダイアログが表示されるので、ユーザー情報を入力して「次へ」ボタンをクリックしてください。



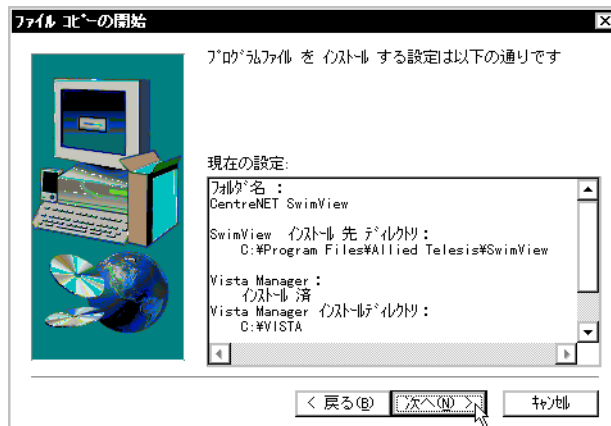
7. SwimViewのインストール先を指定します。



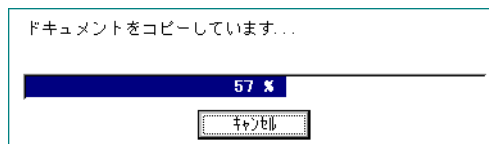
8. プログラムフォルダを選択して、「次へ」をクリックしてください。



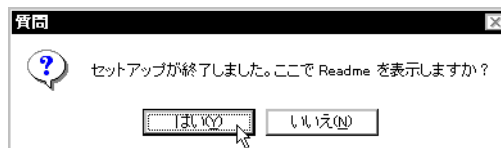
9. コピーの確認ダイアログが表示されます。よろしければ、「次へ」をクリックしてください。



10. ファイルのコピーが開始されます。



11. ファイルのコピーが完了すると、次のダイアログが表示されます。「はい」をクリックすると、README.TXTファイルが表示されます。



12. 次にSwimViewのドキュメント（オンラインマニュアル）をインストールします。手順3の画面に戻ったら、「SwimViewのドキュメントキットをインストール」をクリックし、以後画面の指示にしたがってください。
13. SwimViewのインストール後初めてVista Managerを起動すると、「3.4 Vista Managerの起動」の手順2と同じダイアログが表示されますので、必ずMIBファイルの再コンパイルを実行してください。Vista Managerにログイン後、SwimView対応機器のアイコンをダブルクリックすると、SwimViewが起動します。また、タスクバーの「スタート」メニューから、「プログラム」「CentreNET SwimView」「SwimView」と選択しても、SwimViewを起動できます。

14. SwimViewを起動したら、「ヘルプ」「ライセンス登録」コマンドを選択し、次のダイアログでシリアル番号と認証キーを入力してください。これらは、シリアル/認証キーシール入り封筒に封入されています。ライセンス登録の詳細については、README.TXTファイル（次ページ手順15を参照）をご覧ください。

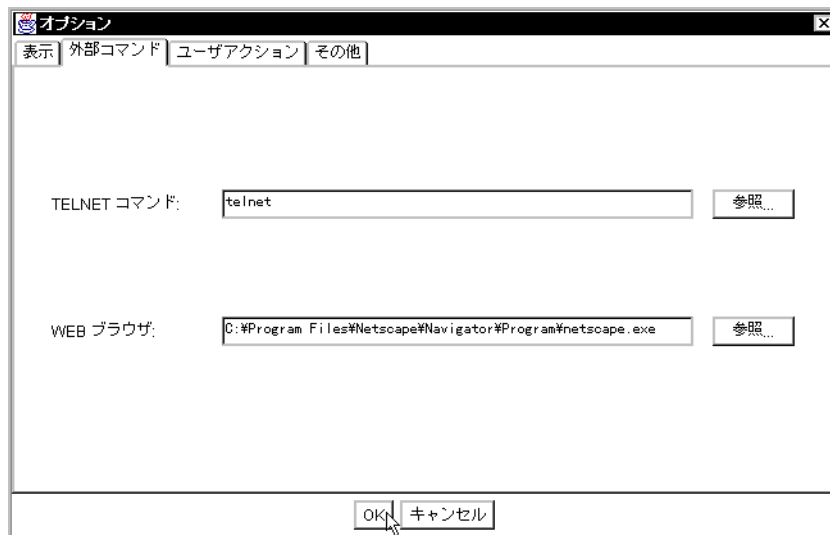


15. これでSwimViewのインストールは完了です。SwimViewの使用方法等については、以下のドキュメントを参考にしてください。

- ・ オンラインマニュアル（SwimViewの「ヘルプ」「目次」）
- ・ ホームページ（<http://www1.allied-telesis.co.jp/sw/swimview/>）
- ・ README.TXTファイル（Windowsの「スタート」「プログラム」「CentreNET SwimView」「お読みください」）

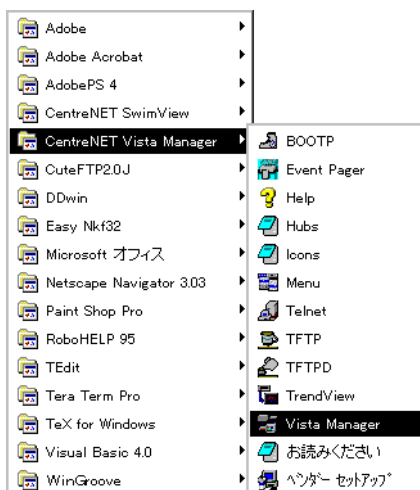


オンラインマニュアルをご覧になるには、SwimViewの「設定」  
「オプション」コマンドで「オプション」ダイアログを表示させ、「外  
部コマンド」タブの「WEBブラウザ」テキストボックスに、ご使用の  
Webブラウザの実行ファイル名を入力（または「参照」ボタンをク  
リックして選択）します。

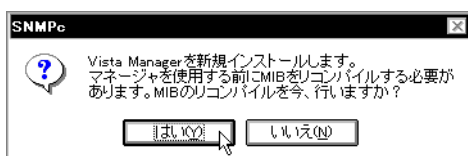


## 3.4 Vista Managerの起動

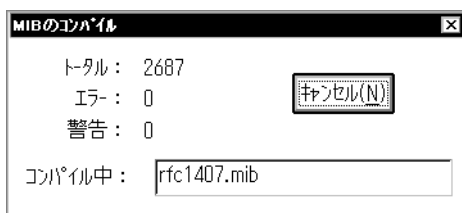
1. タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」  
「CentreNET Vista Manager」 「Vista Manager」の順に選択しま  
す。



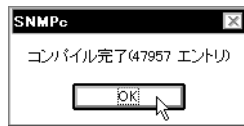
2. インストール後初めてVista Managerを起動したときは、次のダイア  
ログボックスが表示されます。「はい」をクリックしてMIBのコンパイル  
を実行してください。



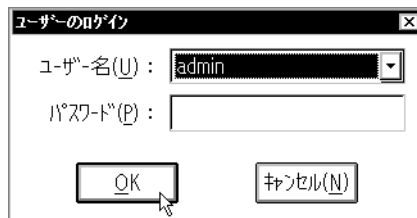
コンパイル中は、進行状況を示す次のダイアログが表示されます。コン  
パイルには数分かかります。



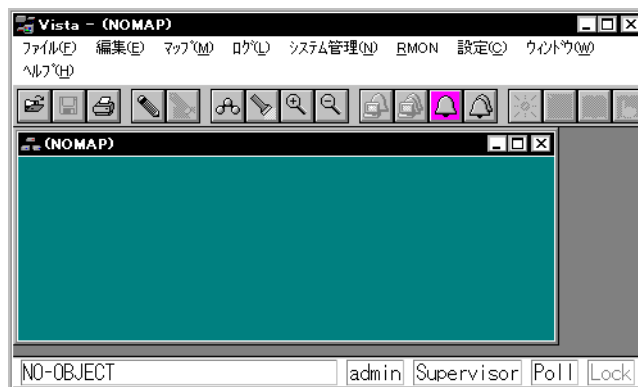
3. コンパイルが完了すると次のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをクリックしてください。



4. 次のようなログイン画面が表示されます。最初はデフォルトのユーザー名「admin」のまま、「OK」をクリックしてログインします（ログインユーザーの設定については、ユーザーズマニュアルの第3章「コマンドリファレンス」の「設定」「ユーザー設定」コマンドの解説を参照してください）。

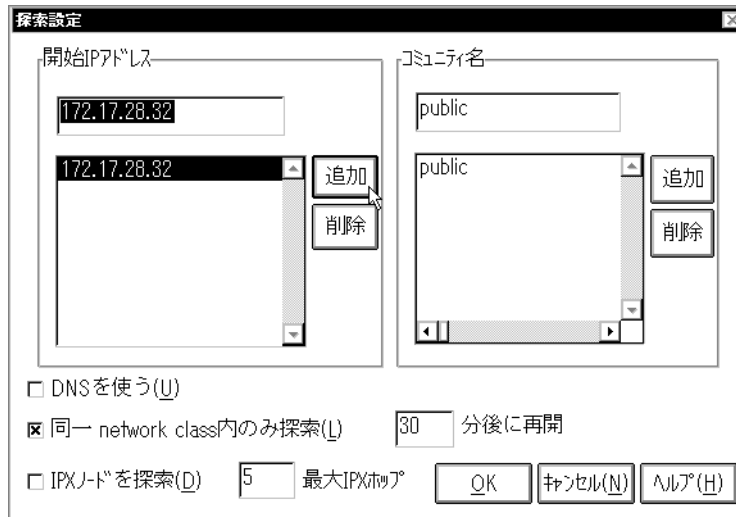


5. Vista Managerのフレームウィンドウが表示されます。



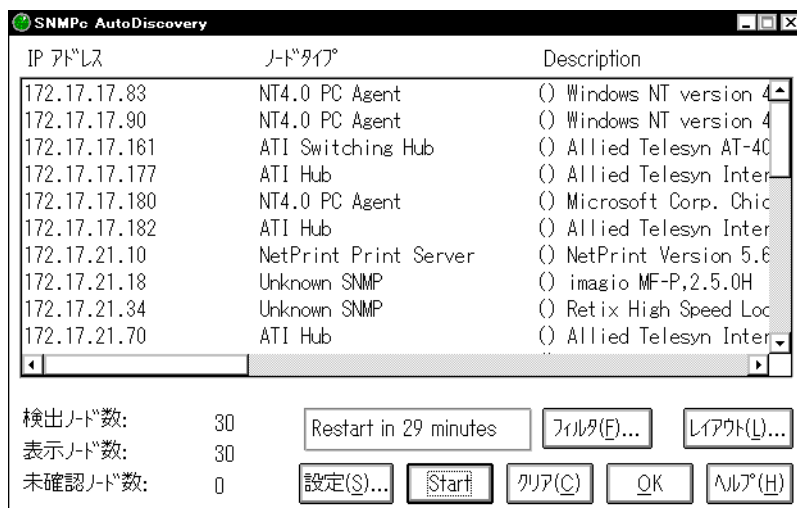
6. AutoDiscovery機能を利用してノードデータを収集し、ネットワークマップを自動作成します（詳しくは、ユーザーズマニュアルの「編集」「ノードの探索」コマンドの解説を参照してください）。

「編集」メニューから「ノードの探索」を選択します。初めてこのコマンドを実行するときは、次のような「探索設定」ダイアログが表示されます。

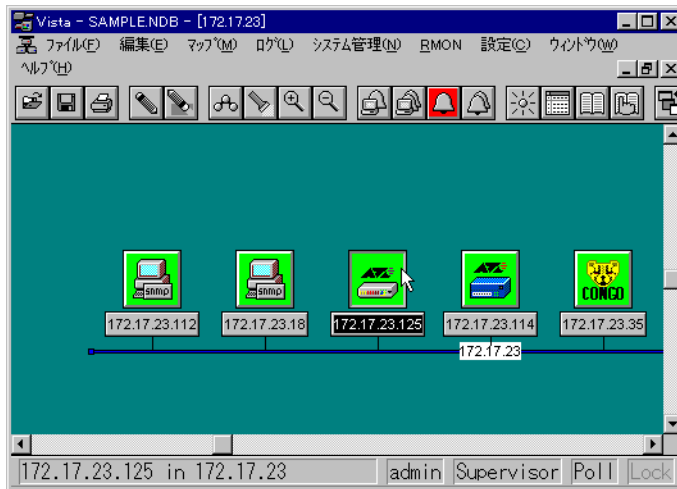


「開始IPアドレス」テキストボックスに、SNMPエージェントを持つブリッジやルータのIPアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックします。すると、入力したIPアドレスが、テキストボックスの下のリストに追加されます。開始IPアドレスを追加したら、「OK」ボタンを押すと、「Auto Discovery」ダイアログボックスが表示され、ノードの探索が始まります。

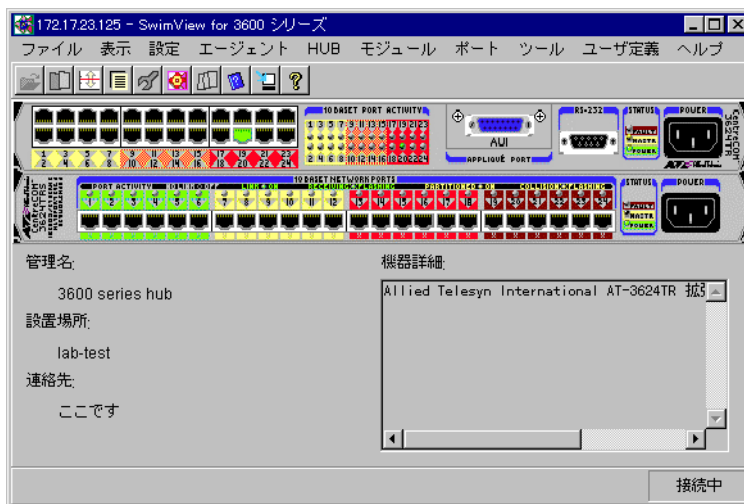
- 「AutoDiscovery」ダイアログには、検出されたノードが次々と表示されます。「未確認ノード数」が0になると、ノードの探索は終了です。



8. 「レイアウト」ボタンをクリックしてください。検出されたノードやネットワークが、マップウィンドウに表示されます。



9. マップウィンドウ上のアライドテレシス製機器のアイコンをダブルクリックすると、BitViewまたはSwimViewが起動します（管理対象機器がSwimViewとBitViewの両方でサポートされている場合は、SwimViewが優先して起動されます。SwimViewがサポートしていない機種の場合は、BitViewが起動されます）。



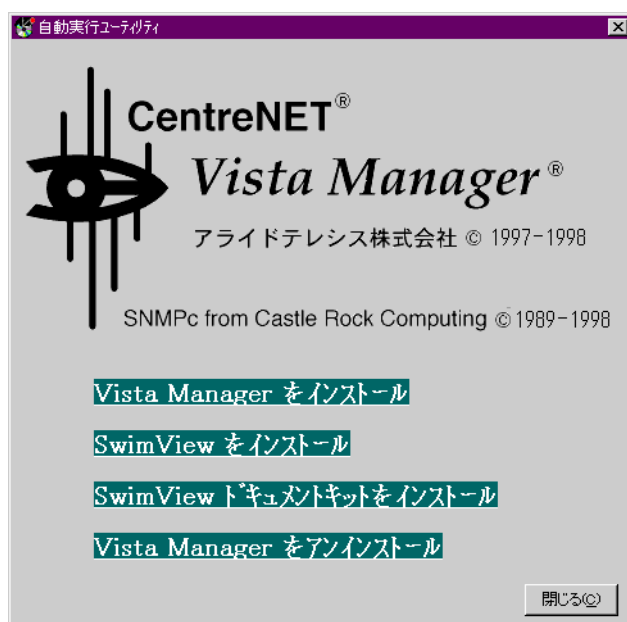
## 3.5 アンインストール方法について

### Vista Managerのアンインストール

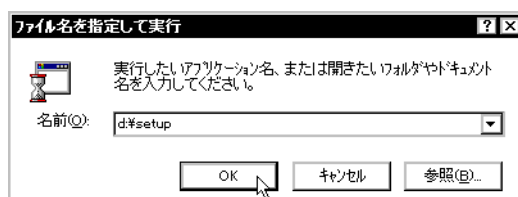
Vista Managerのアンインストールは、以下の手順で行います。

注: Vista Managerをアンインストールすると、Vista Managerに関するすべての情報が削除されます。

1. CD-ROMドライブに、Vista ManagerのCD-ROMをセットします。  
(ここでは、CD-ROMドライブをD:、ハードディスクをC:とします)
2. セットアッププログラム(「自動実行ユーティリティ」)が自動的に起動し、次の画面が表示されます。「Vista Managerをアンインストール」をクリックしてください。



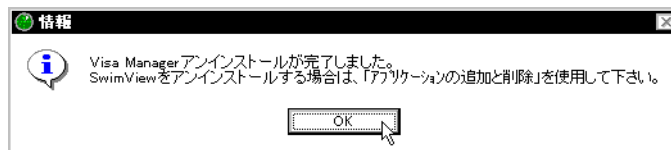
セットアップが自動的に起動しない場合は、タスクバーから「スタート」「ファイル名を指定して実行」と選択し、「名前」に「d:¥setup」と入力して「OK」を押すと、上記の画面が表示されます。



3. 次のダイアログが表示されます。「はい」をクリックしてください。



4. アンインストールが完了すると、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



## SwimViewのアンインストール

SwimViewのアンインストールは、Windows 95/NT標準のアンインストール機能（「アプリケーションの追加と削除」）を使います。

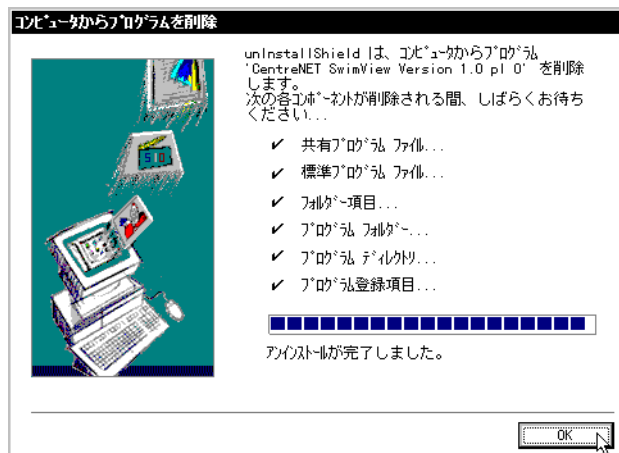
1. 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」を開き、「セットアップと削除」タブを選択します。リストボックスから「CentreNET SwimView Version x.y pl z」を選択して、「追加と削除」ボタンをクリックしてください（注：Version x.y pl z の部分はSwimViewのバージョンによって異なることがあります）。



2. 次のダイアログが表示されるので、「はい」をクリックします。



3. アンインストールが実行されます。完了したら、「OK」ボタンをクリックしてください。



4. SwimViewのアンインストール後に、再度BitViewをご使用になる場合は、ベンダー情報を再インストールしてください。



# 4

## その他の注意事項

CentreNET Vista Managerを使用する際のその他の注意事項です。

## 4.1 OSによる制限事項

- 1 Windows 95上でVista Managerを使用した場合、Pingノード（パソコン端末など）は検出されません（この制限はWindows 95に付属するWINSOCK.DLLの仕様によるものです）。
- 2 Windows 95/NT 4.0付属のIPX/SPX互換プロトコルでは、プロトコルスタックの仕様により、IPXノードの検索や管理ができません。

なお、Windows 95上では、Novell社のNovell Netware Client 32に付属の「IPX 32bit Protocol for Novell Netware Client32」プロトコルスタックで、IPXネットワークの管理が可能であることを確認しております

## 4.2 RMON機能の制限事項

「RMON」「ホスト」「HOST Table の表示」「Help」のヘルプ表示に誤りがあります。

「RMON」「統計情報」「Statics Table の表示」「Help」のヘルプ表示に誤りがあります。

RMONのキャプチャ機能において、Indexが1以外のエントリの内容が正しく設定されないことがあります。

「RMON CaptureTableの表示」から「View」を連続して選択するとアプリケーションエラーを起こすことがあります。

もしも、アプリケーションエラーが発生した際には、次の手順に従ってください。

- Windows 95 の場合は、「CTRL」+「ALT」+「DEL」キーを同時に押し、「プログラムの強制終了」からVista Managerを選択して終了させてください。
- Windows NT の場合は、タスクマネージャからVista Managerを選択して終了させてください。

